

古河電工グループ総合技術展記念号発刊に際し



専務取締役 中野 耕作

当社の新規技術開発の成果を広く各方面にご紹介する目的で発刊してきました「古河電工時報」も創刊120号を迎えることになりました。この間、我が国における基幹産業分野を担う企業としての古河電工の技術開発成果の公表を通じて、当該技術の発展にいささかの寄与をなし得てきたと自負しております。

本年古河電工では創業123年を迎えるにあたり、当社グループの総合技術展を初めて開催する運びとなりました。そこで、本号では古河電工グループ総合技術展記念号として、本総合技術展に展示される製品の紹介並びに展示テーマに沿った技術紹介をすることとなりました。

総合技術展では、「価値創造の種が、ここにある」をテーマとし、古河電工並びに関連会社34社から製品や技術の紹介がなされます。古河電工とはどんな会社か、どのような製品・技術を持っているのか、何処へ向かっていくのか、地球環境に何か貢献しているのかなどの疑問をお持ちの方がたくさんおられると思います。総合技術展においてそれらの疑問にお答えするとともに、本古河電工時報にてその技術的背景を余すことなく解説したいと思っております。

古河電工は技術立社の会社であり、種々の製品を作り上げる「現場力」と新製品を産み出す「研究開発力」の弛まない向上が不可欠であります。金属・プラスチック・フォトリソの3つの素材について長年培った製造・応用・開発技術を背景とした新製品開発、並びにその融合製品を次々と市場に出していく所存です。特に、真に豊かで持続可能な社会の実現に貢献すべく、地球環境に優しい製品と技術の開発を軸として、日々研究開発に努力してまいります。

本特集号では、当社及び関連会社の各事業分野において進めた技術開発の状況とその成果並びに今後の進むべき道筋についてご報告するものでありますが、併せて今後ますますのご指導、ご愛顧をこの場を借りてお願い申し上げます。